

白馬村総合計画策定のための
村民アンケート

調査結果報告

目次

調査の概要	2
調査結果集計	3
記述回答	40

平成27年
長野県白馬村

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、白馬村民の村政に対する意識を把握し、第5次総合計画策定の際の基礎資料とし、白馬村の将来像に役立てることを目的とします。

2 調査項目

本調査は、次の事項について、意識、意向調査を実施します。

- ① 白馬村の施策に対する満足度と課題について
- ② 白馬村の将来像について
- ③ 白馬村の開発規制について
- ④ 地域活動や協働への参加について
- ⑤ 防災対策について
- ⑥ その他、村に対する希望、意見等について

3 調査方法

- ① 調査対象 20歳以上の村民2,000人（男女各1,000人）を無作為抽出
- ② 郵送により調査票を配布、郵送により回収
- ③ 調査期間 平成27年3月～4月
- ③ 配布票数2,000／回収票数959／回収率48.0%

4 集計上の留意点

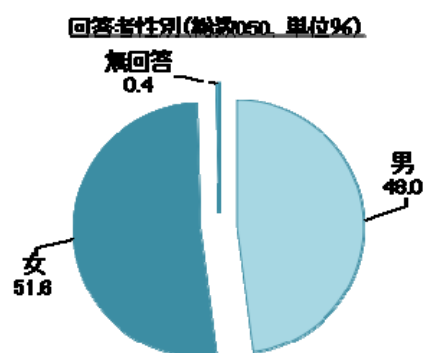
- ① 特に注記していない回答は単回答（1つに○）です。
- ② 複数回答については、（総数959、3つまで複数回答、単位%）などのように注記しました。
- ③ 百分率（%）は小数点第二位を四捨五入して小数点第一位までを表記しました。したがって、単回答の設問では、百分率の合計が100にならないことがあります。
- ③ 複数回答において、百分率の分母（%ベース）は回答者数としました。したがって、回答数の合計が回答者数を超えることがあります。また、百分率の合計が100を超えることがあります。

【調査結果集計】

I あなたご自身に関する質問

問1 あなたの性別は？

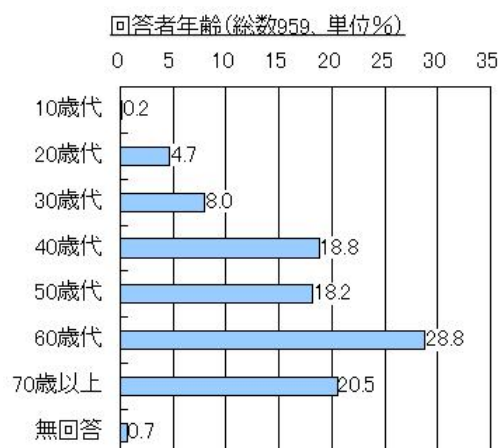
	回答数	割合(%)
男	460	48.0
女	495	51.6
無回答	4	0.4
回答者総数(%ベース)	959	100



○回答者総数959人の内訳は、男性48.0%(460人)、女性51.6%(495人)、「無回答」が0.4%(4人)です。

問2 あなたの年齢は？

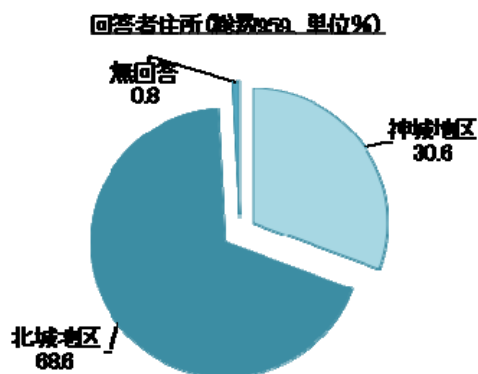
	回答数	割合(%)
10歳代	2	0.2
20歳代	45	4.7
30歳代	77	8.0
40歳代	180	18.8
50歳代	175	18.2
60歳代	276	28.8
70歳以上	197	20.5
無回答	7	0.7
回答者総数(%ベース)	959	100



○年齢別では、「60歳代」が28.8%(276人)と最も多く、次いで「70歳以上」20.5%(197人)、「40歳代」18.8%(180人)、「50歳代」18.2%(175人)です。

問3 あなたのお住まいは？

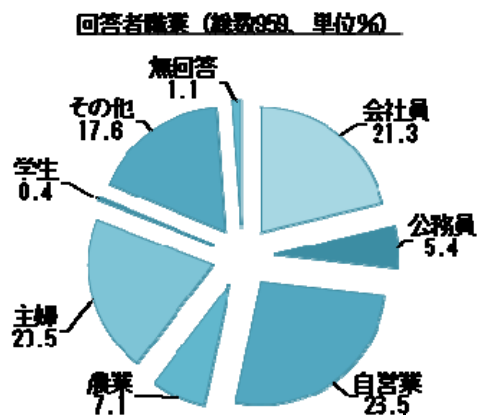
	回答数	割合(%)
神城地区	293	30.6
北城地区	658	68.6
無回答	8	0.8
回答者総数(%ベース)	959	100



○「北城地区」が68.6%(658人)、「神城地区」が30.6%(293人)です。

問4 あなたの職業は？(兼業の場合は主たる職業についてお答えください。)

	回答数	割合(%)
会社員	204	21.3
公務員	52	5.4
自営業	254	26.5
農業	68	7.1
主婦	197	20.5
学生	4	0.4
その他	169	17.6
無回答	11	1.1
回答者総数(%ベース)	959	100

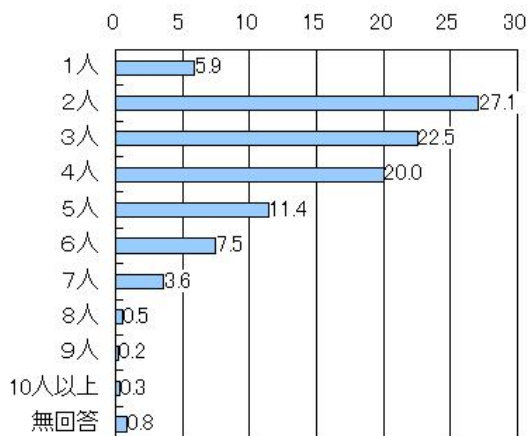


○「自営業」が26.5%(254人)と最も多く、次いで「会社員」21.3%(204人)、「主婦」20.5%(197人)などとなっています。

問5 あなたの家族は？ ご自身を含めて何人ですか？

	回答数	割合 (%)
1人	57	5.9
2人	260	27.1
3人	216	22.5
4人	192	20.0
5人	109	11.4
6人	72	7.5
7人	35	3.6
8人	5	0.5
9人	2	0.2
10人以上	3	0.3
無回答	8	0.8
回答者総数 (%ベース)	959	100

回答者家族員数(総数959、単位%)

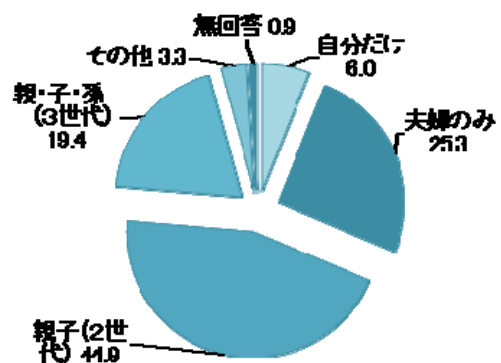


○「2人」が27.1%(260人)と最も多く、次いで「3人」22.5%(216人)、「4人」20.0%(192人)などとなっています。

問6 家族構成は？

	回答数	割合 (%)
自分だけ	58	6.0
夫婦のみ	243	25.3
親子(2世代)	431	44.9
親・子・孫(3世代)	186	19.4
その他	32	3.3
無回答	9	0.9
回答者総数 (%ベース)	959	100

回答者家族構成(総数959、単位%)

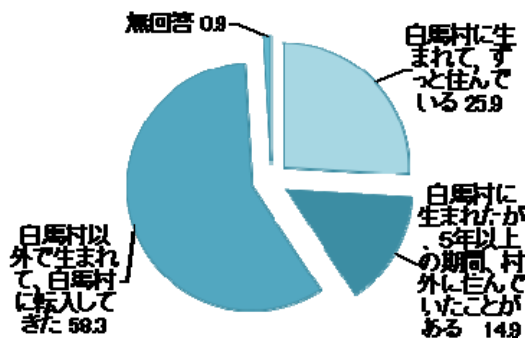


○「親子(2世代)」が44.9%(431人)と最も多く、次いで「夫婦のみ」25.3%(243人)、「親・子・孫(3世代)」19.4%(186人)などとなっています。「自分だけ」も6.0%(58人)見られます。

問7 あなたは白馬村にどのくらいお暮らしですか？(お住まいの経歴)

	回答数	割合(%)
白馬村に生まれて、ずっと住んでいる	248	25.9
白馬村に生まれたが、5年以上の期間、村外に住んでいたことがある	143	14.9
白馬村以外で生まれて、白馬村に転入してきた	559	58.3
無回答	9	0.9
回答者総数(%ベース)	959	100

回答者居住歴(総数959、単位%)

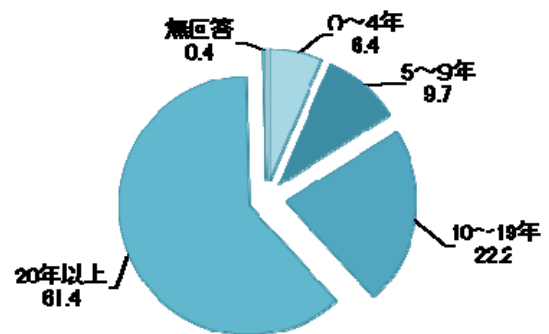


○「白馬村以外で生まれて、白馬村に転入してきた」とする人が58.3%(559人)と半数を超えています。「白馬村に生まれて、ずっと住んでいる」人が25.9%(248人)、「白馬村に生まれたが、5年以上の期間、村外に住んでいたことがある」人が14.9%(143人)です。

問8 転入された方は、白馬村に住んで何年になりますか？(累計で結構です)

	回答数	割合(%)
0～4年	36	6.4
5～9年	54	9.7
10～19年	124	22.2
20年以上	343	61.4
無回答	2	0.4
回答者総数(%ベース)	559	100

転入者の居住年数(総数559、単位%)



○転入者のうち、「20年以上」居住している人が61.4%(343人)と半数を超え、次いで「10～19年」が22.2%(124人)、「5～9年」が9.7%(54人)となっています。

II 現在の白馬村の住みごころ

問9 あなたが感じている白馬村の「満足度」についてお答えください。各項目について、該当する番号を1つずつ選んでください。

分野	項目	満足度(上段:回答数/下段:割合(%))					
		不満	やや不満	どちらとも いえない	やや満足	満足	無回答
環境保全	ア. 自然環境や景観の保全 (総数959)	68 7.1	156 16.3	266 27.7	339 35.3	121 12.6	9 0.9
	イ. 美化運動の推進 (総数959)	61 6.4	214 22.3	424 44.2	214 22.3	34 3.5	12 1.3
	ウ. 環境浄化対策(屋外広告、案内板、自販機設置規制等) (総数959)	75 7.8	190 19.8	443 46.2	197 20.5	39 4.1	15 1.6
	エ. 緑化事業の推進 (総数959)	63 6.6	175 18.2	510 53.2	159 16.6	35 3.6	17 1.8
	オ. 青少年への自然保護教室 (総数959)	73 7.6	202 21.1	543 56.6	99 10.3	20 2.1	22 2.3
	カ. 里山の保全 (総数959)	91 9.5	248 25.9	426 44.4	150 15.6	28 2.9	16 1.7
	キ. 地球温暖化対策 (総数959)	97 10.1	222 23.1	521 54.3	78 8.1	16 1.7	25 2.6

○満足度高い「自然環境や景観の保全」

全体として、「どちらともいえない」が40～50%台を占め、これに「やや不満」が20%台で続いています。これに対し、「ア. 自然環境や景観の保全」では、「やや満足」35.3%(339人)が最も多く、これに「どちらともいえない」が27.7%(266人)と続き、「満足」も12.6%(121人)と比較的高い値を示しています。また、「ウ. 環境浄化対策(屋外広告、案内板、自販機設置規制等)」は、「どちらともいえない」が46.2%(443人)で最も多く、「やや満足」が20.5%(197人)でこれに次ぎ、ともに全体として満足度が高いことが分かります。

年代別●「ア. 自然環境や景観の保全」に対する満足度

上段: 回答数 下段: %	合計	不満	やや不満	どちらとも いえない	やや満足	満足	無回答
全体	959 100.0	68 7.1	156 16.3	266 27.7	339 35.3	121 12.6	9 0.9
10歳代	2 100.0	- -	2 100.0	- -	- -	- -	- -
20歳代	45 100.0	- -	7 15.6	9 20.0	21 46.7	8 17.8	- -
30歳代	77 100.0	6 7.8	9 11.7	23 29.9	24 31.2	15 19.5	- -
40歳代	180 100.0	10 5.6	28 15.6	54 30.0	59 32.8	29 16.1	- -
50歳代	175 100.0	14 8.0	31 17.7	45 25.7	68 38.9	17 9.7	- -
60歳代	276 100.0	24 8.7	45 16.3	79 28.6	99 35.9	26 9.4	3 1.1
70歳以上	197 100.0	13 6.6	33 16.8	55 27.9	67 34.0	25 12.7	4 2.0
無回答	7 100.0	1 14.3	1 14.3	1 14.3	1 14.3	1 14.3	2 28.6

○「20歳代」で特に高い「ア. 自然環境や景観の保全」に対する満足度

「ア. 自然環境や景観の保全」に対する満足度を年代別に見ると、いずれも「やや満足」が30～40%台ですが、特に「20歳代」が46.7% (21人) と高く、さらに「やや満足」と「満足」を合わせると64.5% (29人) で、20歳代の半数を超える人が満足と答えています。

分野	項目	満足度(上段:回答数/下段:割合(%))					
		不満	やや不満	どちらとも いえない	やや満足	満足	無回答
基盤整備・生活環境	ク. 身近な生活道路の整備	187	288	221	219	29	15
	(総数959)	19.5	30.0	23.0	22.8	3.0	1.6
	ケ. 下水道の整備	93	129	325	270	131	11
	(総数959)	9.7	13.5	33.9	28.2	13.7	1.1
	コ. 河川環境の整備	71	171	398	250	55	14
	(総数959)	7.4	17.8	41.5	26.1	5.7	1.5
	サ. 除雪・融雪など雪対策の充実	88	179	227	343	111	11
	(総数959)	9.2	18.7	23.7	35.8	11.6	1.1
	シ. 消防・防災対策の充実	42	117	391	329	67	13
	(総数959)	4.4	12.2	40.8	34.3	7.0	1.4
ス. 防犯灯など防犯対策	89	236	366	214	44	10	
(総数959)	9.3	24.6	38.2	22.3	4.6	1.0	
セ. ごみの分別、リサイクル活動の推進	71	201	358	261	53	15	
(総数959)	7.4	21.0	37.3	27.2	5.5	1.6	

○「ク. 身近な生活道路の整備」で高い不満度

全体的に「どちらともいえない」が30～40%台で最も多くなっていますが、「ク. 身近な生活道路の整備」では「やや不満」が30.0% (288人)と最も高く、また「サ. 除雪・融雪など雪対策の充実」では「やや満足」が35.8% (343人)と最も高くなっています。

地域別●「ク. 身近な生活道路の整備」に対する満足度

上段:回答数 下段: %	合計	不満	やや不満	どちらとも いえない	やや満足	満足	無回答
全体	959	187	288	221	219	29	15
	100.0	19.5	30.0	23.0	22.8	3.0	1.6
神城地区	293	57	89	64	67	13	3
	100.0	19.5	30.4	21.8	22.9	4.4	1.0
北城地区	658	129	196	156	150	16	11
	100.0	19.6	29.8	23.7	22.8	2.4	1.7
無回答	8	1	3	1	2	-	1
	100.0	12.5	37.5	12.5	25.0	-	12.5

○いずれの地区も「身近な生活道路の整備」に対する満足度は低い

「ク. 身近な生活道路の整備」について地区別に見ると、神城地区で30.4% (89人)、北城地区で29.8% (196人)がともに「やや不満」と答えており、これらに「不満」を合わせると、地区を問わずともに約半数の人が不満としています。

分野	項目	満足度(上段:回答数/下段:割合(%))					
		不満	やや不満	どちらとも いえない	やや満足	満足	無回答
健康・福祉・ 医療	ソ. 高齢者のための施設や制度の充実 (総数959)	102 10.6	230 24.0	421 43.9	165 17.2	28 2.9	13 1.4
	タ. 障がいのある方のための施設や制度の充実 (総数959)	95 9.9	245 25.5	515 53.7	78 8.1	12 1.3	14 1.5
	チ. 子育て支援制度や施設の充実 (総数959)	77 8.0	189 19.7	496 51.7	151 15.7	28 2.9	18 1.9
	ツ. 保健・医療体制や施設の充実 (総数959)	96 10.0	269 28.1	402 41.9	159 16.6	22 2.3	11 1.1
	テ. ボランティア活動の支援 (総数959)	39 4.1	149 15.5	614 64.0	115 12.0	24 2.5	18 1.9
	ト. 健康づくり制度 (総数959)	40 4.2	112 117.0	573 59.7	193 20.1	26 2.7	15 1.6
	ナ. バリアフリー化 (総数959)	105 10.9	268 27.9	499 52.0	52 5.4	15 1.6	20 2.1

○「健康づくり制度」で高い満足度

全体的に「どちらともいえない」が40～60%台、「やや不満」が20%台を占めていますが、このうち、「やや不満」の割合が高いのは「ツ. 保健・医療体制や施設の充実」28.1%(269人)、「ナ. バリアフリー化」27.9%(268人)などです。一方、「ト. 健康づくり制度」では20.1%(193人)が「やや満足」と答えています。

男女別●「健康づくり制度」に対する満足度

上段:回答数 下段: %	合計	不満	やや不満	どちらともい えない	やや満足	満足	無回答
全体	959 100.0	40 4.2	112 11.7	573 59.7	193 20.1	26 2.7	15 1.6
男	460 100.0	14 3.0	58 12.6	282 61.3	86 18.7	13 2.8	7 1.5
女	495 100.0	26 5.3	54 10.9	289 58.4	106 21.4	13 2.6	7 1.4
無回答	4 100.0	- -	- -	2 50.0	1 25.0	- -	1 25.0

○女性で高い「健康づくり制度」に対する満足度

「健康づくり制度」に対する満足度を男女別で見ると、ともに「どちらともいえない」が60%前後と高くなっていますが、「やや満足」と答えた人は女性で21.4%(106人)、男性で18.7%(86人)と、評価に幾分差のあることが分かります。

年代別●「健康づくり制度」に対する満足度

上段: 回答数 下段: %	合計	不満	やや不満	どちらともいえない	やや満足	満足	無回答
全体	959 100.0	40 4.2	112 11.7	573 59.7	193 20.1	26 2.7	15 1.6
10歳代	2 100.0	- -	1 50.0	1 50.0	- -	- -	- -
20歳代	45 100.0	1 2.2	- -	32 71.1	10 22.2	2 4.4	- -
30歳代	77 100.0	6 7.8	8 10.4	41 53.2	16 20.8	5 6.5	1 1.3
40歳代	180 100.0	5 2.8	22 12.2	112 62.2	36 20.0	4 2.2	1 0.6
50歳代	175 100.0	7 4.0	21 12.0	113 64.6	30 17.1	4 2.3	- -
60歳代	276 100.0	16 5.8	34 12.3	164 59.4	51 18.5	7 2.5	4 1.4
70歳以上	197 100.0	5 2.5	26 13.2	108 54.8	47 23.9	4 2.0	7 3.6
無回答	7 100.0	- -	- -	2 28.6	3 42.9	- -	2 28.6

○「70歳代以上」で満足度が高い「健康づくり制度」

「健康づくり制度」に対する満足度を年代別に見ると、いずれも「どちらともいえない」が60%前後と最も高くなっていますが、「やや満足」では、「70歳以上」が23.9%(47人)、これに対し「50歳代」17.1%(30人)、「60歳代」18.5%(51人)と60歳代以上の層で評価にやや差が見られます。

分野	項目	満足度(上段:回答数/下段:割合(%))					
		不満	やや不満	どちらとも いけない	やや満足	満足	無回答
教育・文化	ニ. 義務教育の教育環境の充実 (総数959)	44 4.6	107 11.2	525 54.7	227 23.7	35 3.6	21 2.2
	又. 生涯学習を支援する制度や施設の充実 (総数959)	52 5.4	198 20.6	521 54.3	147 15.3	17 1.8	24 2.5
	ネ. スポーツ活動を支援する制度や施設の充実 (総数959)	68 7.1	199 20.8	424 44.2	218 22.7	30 3.1	20 2.1
	ノ. 文化活動、地域活動への支援 (総数959)	51 5.3	179 18.7	547 57.0	142 14.8	20 2.1	20 2.1
	ハ. 文化財の保護や保存 (総数959)	44 4.6	151 15.7	594 61.9	122 12.7	28 2.9	20 2.1
	ヒ. 家庭や地域内での子どもへの教育 (総数959)	49 5.1	171 17.8	585 61.0	110 11.5	21 2.2	23 2.4

○「スポーツ活動を支援する制度や施設の充実」では評価が分かれる

全体的に「どちらともいけない」が半数を超えていますが、「やや満足」では「ニ. 義務教育の教育環境の充実」が23.7%(227人)と高い半面、特に「又. 生涯学習を支援する制度や施設の充実」で「やや不満」が20.6%(198人)と高く、また、「ネ. スポーツ活動を支援する制度や施設の充実」では、「どちらともいけない」が44.2%(424人)が比較的低い半面、「やや満足」が22.7%(218人)、「やや不満」が20.8%(199人)と評価が大きく分かれる結果となっています。

男女別●「又. 生涯学習を支援する制度や施設の充実」に対する満足度

上段:回答数 下段: %	合計	不満	やや不満	どちらとも いけない	やや満足	満足	無回答
全体	959 100.0	52 5.4	198 20.6	521 54.3	147 15.3	17 1.8	24 2.5
男	460 100.0	23 5.0	113 24.6	229 49.8	76 16.5	9 2.0	10 2.2
女	495 100.0	28 5.7	84 17.0	292 59.0	70 14.1	8 1.6	13 2.6
無回答	4 100.0	1 25.0	1 25.0	- -	1 25.0	- -	1 25.0

○男性に高い「生涯学習を支援する制度や施設の充実」に対する不満度

「又. 生涯学習を支援する制度や施設の充実」に対する満足度を男女別に見ると、特に男性において「やや不満」が24.6%(113人)と高くなっています。

男女別●「ネ. スポーツ活動を支援する制度や施設の充実」に対する満足度

上段: 回答数 下段: %	合計	不満	やや不満	どちらとも いえない	やや満足	満足	無回答
全体	959 100.0	68 7.1	199 20.8	424 44.2	218 22.7	30 3.1	20 2.1
男	460 100.0	31 6.7	105 22.8	178 38.7	121 26.3	15 3.3	10 2.2
女	495 100.0	37 7.5	94 19.0	245 49.5	95 19.2	15 3.0	9 1.8
無回答	4 100.0	- -	- -	1 25.0	2 50.0	- -	1 25.0

○評価が分かれる「スポーツ活動を支援する制度や施設の充実」

「ネ. スポーツ活動を支援する制度や施設の充実」に対する満足度を男女別に見ると、特に男性では「どちらともいえない」が38.7%(178人)と女性より低く、これに対し「やや満足」が26.3%(121人)、「やや不満」が22.8%(105人)と評価が大きく分かれています。

分野	項目	満足度(上段: 回答数 / 下段: 割合(%))					
		不満	やや不満	どちらとも いえない	やや満足	満足	無回答
産業・観光	フ. 特産品開発と生産振興 (総数959)	133 13.9	305 31.8	381 39.7	110 11.5	13 1.4	17 1.8
	ヘ. 観光産業の振興 (総数959)	133 13.9	274 28.6	378 39.4	137 14.3	15 1.6	22 2.3
	ホ. 観光・レクリエーション等の 拠点整備 (総数959)	150 15.6	297 31.0	370 38.6	110 11.5	11 1.1	21 2.2
	マ. 観光宣伝活動 (総数959)	114 11.9	223 23.3	427 44.5	153 16.0	22 2.3	20 2.1
	ミ. インバウンド対策 (総数959)	61 6.4	167 17.4	555 57.9	120 12.5	21 2.2	35 3.6
	ム. 各種イベントの開催 (総数959)	80 8.3	169 17.6	520 54.2	145 15.1	24 2.5	21 2.2

○不満度が高い「特産品開発と生産振興」と「観光・レクリエーション等の拠点整備」

全体的に「どちらともいえない」が40~50%を占め、これに「やや不満」が続いていますが、特に不満度が高いのが「フ. 特産品開発と生産振興」と「ホ. 観光・レクリエーション等の拠点整備」です。いずれも「不満」「やや不満」を合わせると約46%になります。同様に「観光産業の振興」も不満が40%を超えます。

分野	項目	満足度(上段:回答数/下段:割合(%))					
		不満	やや不満	どちらとも いえない	やや満足	満足	無回答
行政・住民 参加	メ. 男女が平等に参加できる社会づくり (総数959)	54 5.6	159 16.6	560 58.4	136 14.2	27 2.8	23 2.4
	モ. 情報化への対応 (総数959)	80 8.3	246 25.7	497 51.8	101 10.5	12 1.3	23 2.4
	ヤ. 住民参加によるまちづくりの推進 (総数959)	74 7.7	238 24.8	533 55.6	80 8.3	11 1.1	23 2.4
	ユ. 情報公開の推進 (総数959)	95 9.9	210 21.9	537 56.0	82 8.6	13 1.4	22 2.3
	ヨ. 地区に対する支援制度 (総数959)	84 8.8	234 24.4	507 52.9	101 10.5	13 1.4	20 2.1

○「情報化への対応」で不満度が高い

いずれも「どちらともいえない」が50%台で、これに「やや不満」が続いています。このうち、「不満」「やや不満」を合わせた割合が最も高いのが、「モ. 情報化への対応」34%(326人)です。

年代別●「モ. 情報化への対応」に対する満足度

上段:回答数 下段: %	合計	不満	やや不満	どちらとも いえない	やや満足	満足	無回答
全体	959 100.0	80 8.3	246 25.7	497 51.8	101 10.5	12 1.3	23 2.4
10歳代	2 100.0	-	1 50.0	1 50.0	-	-	-
20歳代	45 100.0	2 4.4	15 33.3	16 35.6	11 24.4	1 2.2	-
30歳代	77 100.0	7 9.1	31 40.3	34 44.2	2 2.6	3 3.9	-
40歳代	180 100.0	20 11.1	51 28.3	83 46.1	22 12.2	3 1.7	1 0.6
50歳代	175 100.0	12 6.9	41 23.4	98 56.0	22 12.6	2 1.1	-
60歳代	276 100.0	25 9.1	67 24.3	152 55.1	22 8.0	2 0.7	8 2.9
70歳以上	197 100.0	13 6.6	39 19.8	111 56.3	21 10.7	1 0.5	12 6.1
無回答	7 100.0	1 14.3	1 14.3	2 28.6	1 14.3	-	2 28.6

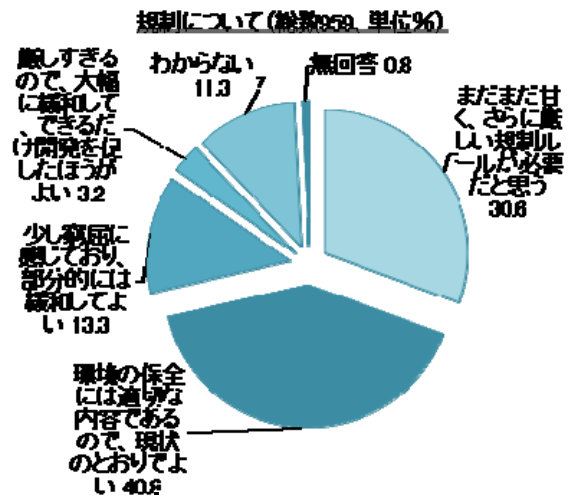
○30歳代が「情報化への対応」に大いに不満

「モ. 情報化への対応」に対する満足度を年代別に見ると、「30歳代」が「不満」「やや不満」合わせて49.4%(38人)と飛び抜けて高くなっています。

Ⅲ 白馬村の開発規制について

問10 白馬村は、自然環境や景観が村の財産であるという考えから、開発のルールや建築物・屋外広告物のルールを他の地域より厳しい内容で定めています。この村の環境行政についてどのように感じていますか？（該当するもの1つ）

	回答数	割合(%)
まだまだ甘く、さらに厳しい規制ルールが必要だと思う	293	30.6
環境の保全には適切な内容であるので、現状のとおりでよい	391	40.8
少し窮屈に感じており、部分的には緩和してよい	128	13.3
厳しすぎるので、大幅に緩和して、できるだけ開発を促したほうがよい	31	3.2
わからない	108	11.3
無回答	8	0.8
回答者総数(%ベース)	959	100



○「環境の保全には適切な内容であるので、現状のとおりでよい」が40.8%(391人)と最も多く、次いで、「まだまだ甘く、さらに厳しい規制ルールが必要だと思う」30.6%(293人)、「少し窮屈に感じており、部分的には緩和してよい」13.3%(128人)などとなっています。これに対し、「厳しすぎるので、大幅に緩和して、できるだけ開発を促したほうがよい」は3.2%(31人)と少数です。

男女別●村の環境行政に対して感じること

上段:回答数 下段: %	合計	まだまだ甘く、さらに厳しい規制ルールが必要だと思う	環境の保全には適切な内容であるので、現状のとおりでよい	少し窮屈に感じており、部分的には緩和してよい	厳しすぎるので、大幅に緩和して、できるだけ開発を促したほうがよい	わからない	無回答
全体	959 100.0	293 30.6	391 40.8	128 13.3	31 3.2	108 11.3	8 0.8
男	460 100.0	145 31.5	181 39.3	70 15.2	23 5.0	36 7.8	5 1.1
女	495 100.0	146 29.5	208 42.0	58 11.7	8 1.6	72 14.5	3 0.6
無回答	4 100.0	2 50.0	2 50.0	-	-	-	-

○部分的緩和あるいは大幅緩和を求める声は、男性が女性を上回る

男女別では、「少し窮屈に感じており、部分的には緩和してよい」で男性15.2%(70人)、「厳しすぎるので、大幅に緩和して、できるだけ開発を促したほうがよい」で男性5.0%(23人)と、いずれも女性を上回っている。

年代別●村の環境行政に対して感じること

上段:回答数 下段: %	合計	まだまだ甘く、さら に厳しい規制 ルールが必要 だと思う	環境の保全に は適切な内容 があるので、現状 のとおりでよい	少し窮屈に感じ ており、部分的 には緩和してよ い	厳しすぎるの で、大幅に緩和 して、できるだけ 開発を促したほ うがよい	わからない	無回答
全体	959 100.0	293 30.6	391 40.8	128 13.3	31 3.2	108 11.3	8 0.8
10歳代	2 100.0	2 100.0	- -	- -	- -	- -	- -
20歳代	45 100.0	5 11.1	28 62.2	6 13.3	- -	6 13.3	- -
30歳代	77 100.0	20 26.0	29 37.7	10 13.0	6 7.8	12 15.6	- -
40歳代	180 100.0	51 28.3	80 44.4	30 16.7	5 2.8	13 7.2	1 0.6
50歳代	175 100.0	47 26.9	70 40.0	31 17.7	7 4.0	19 10.9	1 0.6
60歳代	276 100.0	101 36.6	101 36.6	32 11.6	9 3.3	30 10.9	3 1.1
70歳以上	197 100.0	65 33.0	79 40.1	19 9.6	4 2.0	28 14.2	2 1.0
無回答	7 100.0	2 28.6	4 57.1	- -	- -	- -	1 14.3

○「20歳代」で60%以上が「現状のとおりでよい」、60歳代以上で「もっと厳しく」

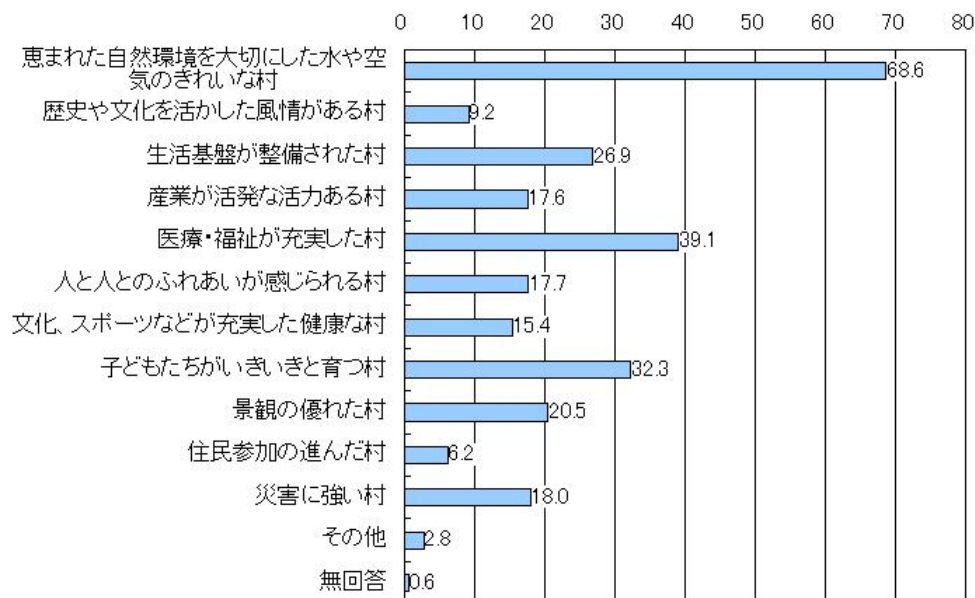
「環境の保全には適切な内容であるので、現状のとおりでよい」がほとんどの年代で30～40%を占め、これに「まだまだ甘く、さらに厳しい規制ルールが必要だと思う」が20～30%台で続いているが、「20歳代」のみ、「環境の保全には適切な内容であるので、現状のとおりでよい」が60%以上の高率を示しています。また、60歳代以上で、「まだまだ甘く、さらに厳しい規制ルールが必要だと思う」割合が高くなっています。

Ⅳ これからのむらづくりについて

問11 あなたが望む将来の白馬村は、どのような村ですか？（該当するもの3つまで）

	回答数	割合(%)
恵まれた自然環境を大切にされた水や空気のきれいな村	658	68.6
歴史や文化を活かした風情がある村	88	9.2
生活基盤が整備された村	258	26.9
産業が活発な活力ある村	169	17.6
医療・福祉が充実した村	375	39.1
人と人とのふれあいが感じられる村	170	17.7
文化、スポーツなどが充実した健康な村	148	15.4
子どもたちがいきいきと育つ村	310	32.3
景観の優れた村	197	20.5
住民参加の進んだ村	59	6.2
災害に強い村	173	18.0
その他	27	2.8
無回答	6	0.6
回答者総数(%ベース)	959	100

将来の白馬村について(総数959、3つまで複数回答、単位%)



○圧倒的に「恵まれた自然環境を大切にされた水や空気のきれいな村」

「恵まれた自然環境を大切にされた水や空気のきれいな村」が圧倒的に高く68.6%(658人)、これに「医療・福祉が充実した村」39.1%(375人)、「子どもたちがいきいきと育つ村」32.3%(310人)、「生活基盤が整備された村」26.9%(258人)などが続いています。

男女別●あなたが望む白馬村の将来像

上段:回答数 下段: %	合計	恵まれた自然環境を大切に した水や空気のきれいな村	歴史や文化を活かした 風情がある村	生活基盤が整備された村	産業が活発な活力ある村	医療・福祉が充実した村	人と人とのふれあいが感じられる村
全体	959 100.0	658 68.6	88 9.2	258 26.9	169 17.6	375 39.1	170 17.7
男	460 100.0	304 66.1	48 10.4	112 24.3	93 20.2	162 35.2	77 16.7
女	495 100.0	351 70.9	40 8.1	145 29.3	75 15.2	211 42.6	92 18.6
無回答	4 100.0	3 75.0	- -	1 25.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0

上段:回答数 下段: %	文化、スポーツなどが充実した健康な村	子どもたちがいきいきと育つ村	景観の優れた村	住民参加の進んだ村	災害に強い村	その他	無回答
全体	148 15.4	310 32.3	197 20.5	59 6.2	173 18.0	27 2.8	6 0.6
男	88 19.1	134 29.1	102 22.2	28 6.1	72 15.7	12 2.6	4 0.9
女	60 12.1	174 35.2	95 19.2	30 6.1	100 20.2	15 3.0	2 0.4
無回答	- -	2 50.0	- -	1 25.0	1 25.0	- -	- -

○自然環境・医療福祉・生活基盤などで女性が男性を上回る

上位の「恵まれた自然環境を大切にした水や空気のきれいな村」「医療・福祉が充実した村」「生活基盤が整備された村」いずれにおいても女性が男性を上回っています。男性の意見で女性を上回っているのは「産業が活発な活力ある村」「文化、スポーツなどが充実した健康な村」などです。

○40歳代以下と50歳代以上とで意識に大きな差(次ページ表)

年代別に見ると、「恵まれた自然環境を大切にした水や空気のきれいな村」「医療・福祉が充実した村」は「50歳代」「60歳代」「70歳以上」で高く、「生活基盤が整備された村」は「20歳代」「30歳代」「40歳代」で高くなっています。また、「子どもたちがいきいきと育つ村」は、「20歳代」「30歳代」「40歳代」で40%以上と高く、50歳代以上との意識の差が大きくなっています。

年代別●あなたが望む白馬村の将来像

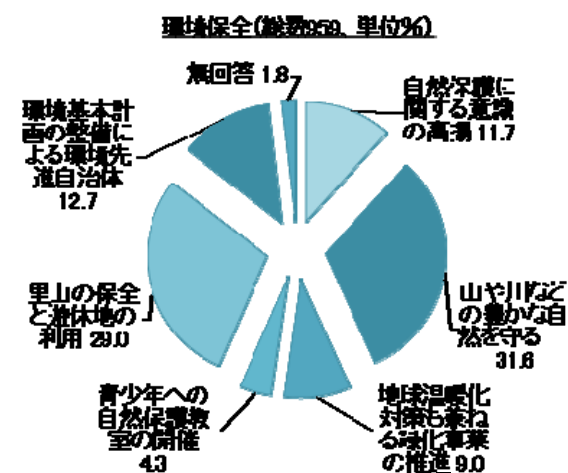
上段:回答数 下段: %	合計	恵まれた自然環境を大切に した水や空気のきれいな村	歴史や文化を活かした 風情がある村	生活基盤が整備された村	産業が活発な 活力ある村	医療・福祉が充実した村	人と人とのふれあいが 感じられる村
全体	959 100.0	658 68.6	88 9.2	258 26.9	169 17.6	375 39.1	170 17.7
10歳代	2 100.0	2 100.0	1 50.0	- -	- -	- -	- -
20歳代	45 100.0	31 68.9	2 4.4	15 33.3	9 20.0	9 20.0	6 13.3
30歳代	77 100.0	51 66.2	9 11.7	24 31.2	18 23.4	25 32.5	9 11.7
40歳代	180 100.0	112 62.2	19 10.6	61 33.9	38 21.1	54 30.0	24 13.3
50歳代	175 100.0	127 72.6	9 5.1	45 25.7	36 20.6	73 41.7	33 18.9
60歳代	276 100.0	191 69.2	25 9.1	72 26.1	45 16.3	129 46.7	60 21.7
70歳以上	197 100.0	139 70.6	23 11.7	40 20.3	22 11.2	82 41.6	37 18.8
無回答	7 100.0	5 71.4	- -	1 14.3	1 14.3	3 42.9	1 14.3

上段:回答数 下段: %	文化、スポーツなどが充実した健康な村	子どもたちがいきいきと育つ村	景観の優れた村	住民参加の進んだ村	災害に強い村	その他	無回答
全体	148 15.4	310 32.3	197 20.5	59 6.2	173 18.0	27 2.8	6 0.6
10歳代	2 100.0	- -	1 50.0	- -	- -	- -	- -
20歳代	14 31.1	18 40.0	14 31.1	3 6.7	7 15.6	1 2.2	- -
30歳代	14 18.2	37 48.1	15 19.5	- -	10 13.0	4 5.2	- -
40歳代	31 17.2	82 45.6	38 21.1	11 6.1	23 12.8	8 4.4	1 0.6
50歳代	36 20.6	48 27.4	38 21.7	12 6.9	32 18.3	4 2.3	3 1.7
60歳代	30 10.9	79 28.6	60 21.7	13 4.7	55 19.9	6 2.2	1 0.4
70歳以上	21 10.7	44 22.3	31 15.7	19 9.6	44 22.3	4 2.0	- -
無回答	- -	2 28.6	- -	1 14.3	2 28.6	- -	1 14.3

問12 あなたが望む白馬村となるためには、どのようなことに特に力を入れたらよいと思いますか？

[環境保全]

	回答数	割合(%)
自然保護に関する意識の高揚	112	11.7
山や川などの豊かな自然を守る	303	31.6
地球温暖化対策も兼ねる緑化事業の推進	86	9.0
青少年への自然保護教室の開催	41	4.3
里山の保全と遊休地の利用	278	29.0
環境基本計画の整備による環境先進自治体	122	12.7
無回答	17	1.8
回答者総数(%ベース)	959	100

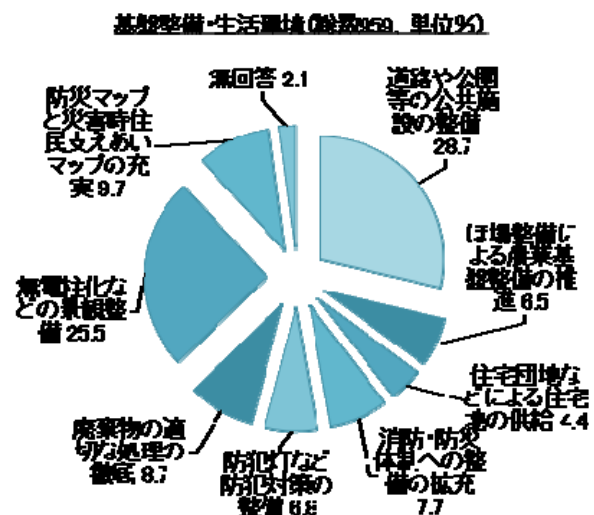


○豊かな自然を守り、かつ、遊休地を利用

「山や川などの豊かな自然を守る」が31.6%(303人)と「里山の保全と遊休地の利用」29.0%(278人)が拮抗し、これらに「環境基本計画の整備による環境先進自治体」12.7%(122人)、「自然保護に関する意識の高揚」11.7%(112人)などが続いています。

[基盤整備・生活環境]

	回答数	割合(%)
道路や公園等の公共施設の整備	275	28.7
ほ場整備による農業基盤整備の推進	62	6.5
住宅団地などによる住宅地の供給	42	4.4
消防・防災体制への整備の拡充	74	7.7
防犯灯など防犯対策の整備	65	6.8
廃棄物の適切な処理の徹底	83	8.7
無電柱化などの景観整備	245	25.5
防災マップと災害時住民支えあいマップの充実	93	9.7
無回答	20	2.1
回答者総数(%ベース)	959	100



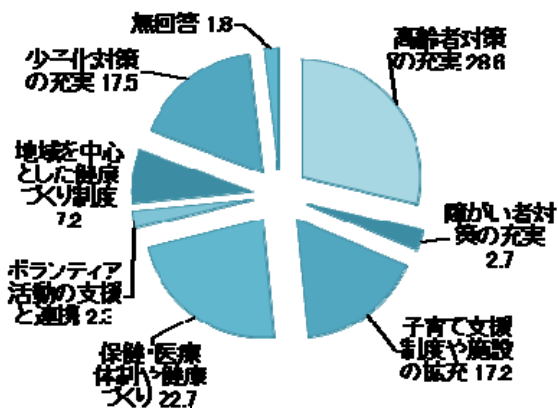
○道路・公園など公共施設の整備と景観整備

「道路や公園等の公共施設の整備」が28.7%(275人)と最も多く、次いで「無電柱化などの景観整備」25.5%(245人)、「防災マップと災害時住民支えあいマップの充実」9.7%(93人)などが続いています。

[健康・福祉・医療]

	回答数	割合(%)
高齢者対策の充実	274	28.6
障がい者対策の充実	26	2.7
子育て支援制度や施設の拡充	165	17.2
保健・医療体制や健康づくり	218	22.7
ボランティア活動の支援と連携	22	2.3
地域を中心とした健康づくり制度	69	7.2
少子化対策の充実	168	17.5
無回答	17	1.8
回答者総数(%ベース)	959	100

健康・福祉・医療(総数959 単位%)



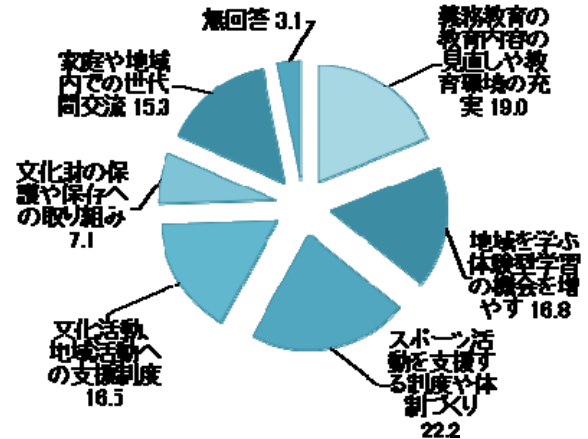
○高齢者対策と少子化対策・子育て支援

「高齢者対策の充実」が28.6%(274人)と最も多く、これに「保健・医療体制や健康づくり」22.7%(218人)、「少子化対策の充実」17.5%(168人)、「子育て支援制度や施設の拡充」17.2%(165人)などが続いています。

[教育・文化]

	回答数	割合(%)
義務教育の教育内容の見直しや教育環境の充実	182	19.0
地域を学ぶ体験型学習の機会を増やす	161	16.8
スポーツ活動を支援する制度や体制づくり	213	22.2
文化活動、地域活動への支援制度	158	16.5
文化財の保護や保存への取り組み	68	7.1
家庭や地域内での世代間交流	147	15.3
無回答	30	3.1
回答者総数(%ベース)	959	100

教育・文化(総数959 単位%)



○全体に意見・要望が分散

全体に意見・要望が分散しています。「スポーツ活動を支援する制度や体制づくり」22.2%(213人)、「義務教育の教育内容の見直しや教育環境の充実」19.0%(182人)、「地域を学ぶ体験型学習の機会を増やす」16.8%(161人)、「文化活動、地域活動への支援制度」16.5%(158人)などが上位にあります。

年代別●特に力を入れたい分野[健康・福祉・医療]

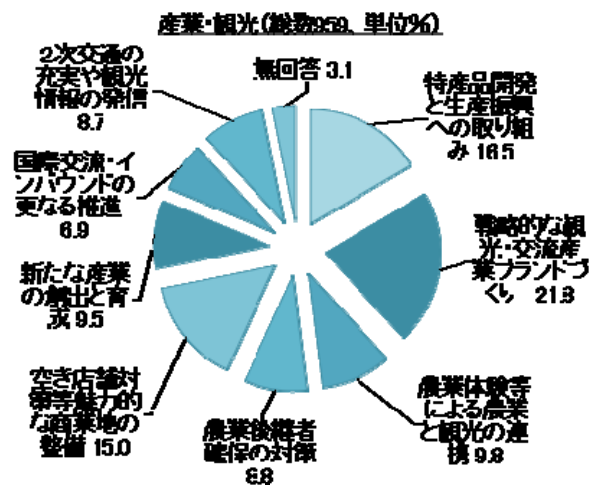
上段:回答数 下段: %	合計	高齢者対策の充実	障がい者対策の充実	子育て支援制度や施設の拡充	保健・医療体制や健康づくり	ボランティア活動の支援と連携	地域を中心とした健康づくり制度	少子化対策の充実	無回答
全体	959 100.0	274 28.6	26 2.7	165 17.2	218 22.7	22 2.3	69 7.2	168 17.5	17 1.8
10歳代	2 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	1 50.0	1 50.0	- -
20歳代	45 100.0	7 15.6	2 4.4	16 35.6	5 11.1	- -	5 11.1	10 22.2	- -
30歳代	77 100.0	11 14.3	4 5.2	30 39.0	12 15.6	1 1.3	3 3.9	16 20.8	- -
40歳代	180 100.0	37 20.6	5 2.8	47 26.1	42 23.3	1 0.6	7 3.9	40 22.2	1 0.6
50歳代	175 100.0	55 31.4	5 2.9	22 12.6	57 32.6	3 1.7	10 5.7	21 12.0	2 1.1
60歳代	276 100.0	98 35.5	7 2.5	31 11.2	59 21.4	12 4.3	17 6.2	48 17.4	4 1.4
70歳以上	197 100.0	64 32.5	3 1.5	18 9.1	43 21.8	5 2.5	26 13.2	32 16.2	6 3.0
無回答	7 100.0	2 28.6	- -	1 14.3	- -	- -	- -	- -	4 57.1

○高齢者対策か子育て支援か、年代により大きく分かれる要望・意見

年代により要望・意見が大きく分かれているのが特徴です。20歳代から40歳代では「子育て支援制度や施設の拡充」と「少子化対策」が最も多く、50歳代以上では「高齢者対策の充実」と「保健・医療体制や健康づくり」が多くなっています。

[産業・観光]

	回答数	割合(%)
特産品開発と生産振興への取り組み	158	16.5
戦略的な観光・交流産業ブランドづくり	209	21.8
農業体験等による農業と観光の連携	94	9.8
農業後継者確保の対策	84	8.8
空き店舗対策等魅力的な商業地の整備	144	15.0
新たな産業の創出と育成	91	9.5
国際交流・インパウンドの更なる推進	66	6.9
2次交通の充実や観光情報の発信	83	8.7
無回答	30	3.1
回答者総数(%ベース)	959	100

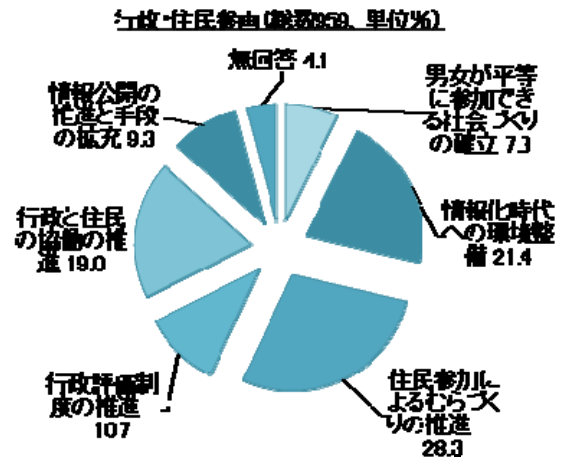


○戦略的なブランドづくりと特産品開発が重要

「戦略的な観光・交流産業ブランドづくり」が21.8%(209人)が最も多く、次いで「特産品開発と生産振興への取り組み」16.5%(158人)、「空き店舗対策等魅力的な商業地の整備」15.0%(144人)と続いています。

[行政・住民参画]

	回答数	割合(%)
男女が平等に参加できる社会づくりの確立	70	7.3
情報化時代への環境整備	205	21.4
住民参加によるむらづくりの推進	271	28.3
行政評価制度の推進	103	10.7
行政と住民の協働の推進	182	19.0
情報公開の推進と手段の拡充	89	9.3
無回答	39	4.1
回答者総数(%ベース)	959	100



○住民参加によるむらづくりを推進

「住民参加によるむらづくりの推進」が28.3%(271人)と最も多く、次いで「情報化時代への環境整備」21.4%(205人)、「行政と住民の協働の推進」19.0%(182人)と続いています。

年代別●特に力を入れたい分野[産業・観光]

上段:回答数 下段: %	合計	特産品 開発と生 産振興 への取り 組み	戦略的 な観光・ 交流産 業ブラン ドづくり	農業体 験等によ る農業と 観光の 連携	農業後 継者の 確保策	空き店舗 対策等 魅力的な 商業地 の整備	新たな産 業の創 出と育成	国際交 流・イン ハウンド の更なる 推進	2次交通 の充実 や観光 情報の 発信	無回 答
全体	959 100.0	158 16.5	209 21.8	94 9.8	84 8.8	144 15.0	91 9.5	66 6.9	83 8.7	30 3.1
10歳代	2 100.0	- -	- -	- -	- -	2 100.0	- -	- -	- -	- -
20歳代	45 100.0	4 8.9	10 22.2	8 17.8	6 13.3	8 17.8	2 4.4	3 6.7	4 8.9	- -
30歳代	77 100.0	7 9.1	24 31.2	3 3.9	8 10.4	15 19.5	2 2.6	8 10.4	9 11.7	1 1.3
40歳代	180 100.0	31 17.2	38 21.1	12 6.7	9 5.0	41 22.8	15 8.3	15 8.3	15 8.3	4 2.2
50歳代	175 100.0	27 15.4	41 23.4	19 10.9	12 6.9	22 12.6	22 12.6	7 4.0	20 11.4	5 2.9
60歳代	276 100.0	52 18.8	66 23.9	22 8.0	20 7.2	34 12.3	35 12.7	17 6.2	23 8.3	7 2.5
70歳以上	197 100.0	37 18.8	30 15.2	29 14.7	29 14.7	22 11.2	14 7.1	16 8.1	11 5.6	9 4.6
無回答	7 100.0	- -	- -	1 14.3	- -	- -	1 14.3	- -	1 14.3	4 57.1

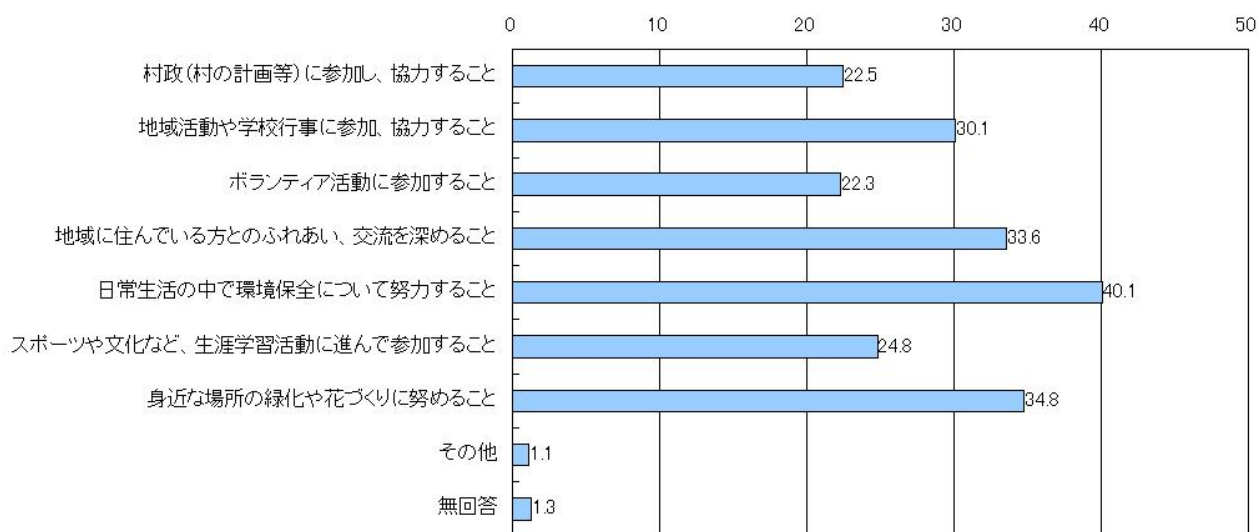
○50歳代以下では、空き店舗対策と魅力的な商業地の整備を要望

「戦略的な観光・交流産業ブランドづくり」への意見・要望が各年代とも高い一方、「10歳代」「30歳代」「40歳代」「50歳代」では「空き店舗対策等魅力的な商業地の整備」も高くなっています。

問13 住みよいむらづくりを進めていくために、あなたが協力できることは何ですか？（複数回答可）

	回答数	割合(%)
村政(村の計画等)に参加し、協力すること	216	22.5
地域活動や学校行事に参加、協力すること	289	30.1
ボランティア活動に参加すること	214	22.3
地域に住んでいる方とのふれあい、交流を深めること	322	33.6
日常生活の中で環境保全について努力すること	385	40.1
スポーツや文化など、生涯学習活動に進んで参加すること	238	24.8
身近な場所の緑化や花づくりに努めること	334	34.8
その他	11	1.1
無回答	12	1.3
回答者総数(%ベース)	959	100

住みよい村づくりに協力できること(総数959、複数回答、単位%)



○日常生活の中で環境保全について努力すること

「日常生活の中で環境保全について努力すること」が40.1%(385人)と最も高く、これに「身近な場所の緑化や花づくりに努めること」34.8%(334人)、「地域に住んでいる方とのふれあい、交流を深めること」33.6%(322人)、「地域活動や学校行事に参加、協力すること」30.1%(289人)などが続いています。

年代別●住みよい村づくりのために協力できること

上段:回答数 下段: %	合計	村政(村 の計画 等)に参 加し、協 力するこ と	地 域 活 動 や 学 校行事に 参加、協 力するこ と	ボランテ ィア活動 に参加す ること	地域に住 んでいる 方とのふ れあい、 交流を深 めること	日 常 生 活の中で 環 境 保 全につい て努力す ること	スポー ツや文化 など、生 涯学 習 活動に進 んで参加 すること	身近な場 所 の 緑 化 や 花 づくりに 努めるこ と	その他	無回 答
全体	959 100.0	216 22.5	289 30.1	214 22.3	322 33.6	385 40.1	238 24.8	334 34.8	11 1.1	12 1.3
10歳代	2 100.0	2 100.0	- -	1 50.0	- -	1 50.0	- -	- -	- -	- -
20歳代	45 100.0	9 20.0	18 40.0	11 24.4	15 33.3	17 37.8	20 44.4	8 17.8	1 2.2	- -
30歳代	77 100.0	18 23.4	40 51.9	18 23.4	29 37.7	30 39.0	24 31.2	23 29.9	4 5.2	- -
40歳代	180 100.0	48 26.7	107 59.4	37 20.6	53 29.4	67 37.2	47 26.1	42 23.3	2 1.1	1 0.6
50歳代	175 100.0	36 20.6	48 27.4	33 18.9	56 32.0	77 44.0	51 29.1	63 36.0	2 1.1	3 1.7
60歳代	276 100.0	65 23.6	51 18.5	72 26.1	85 30.8	123 44.6	52 18.8	110 39.9	- -	4 1.4
70歳以上	197 100.0	37 18.8	23 11.7	40 20.3	82 41.6	68 34.5	44 22.3	86 43.7	2 1.0	1 0.5
無回答	7 100.0	1 14.3	2 28.6	2 28.6	2 28.6	2 28.6	- -	2 28.6	- -	3 42.9

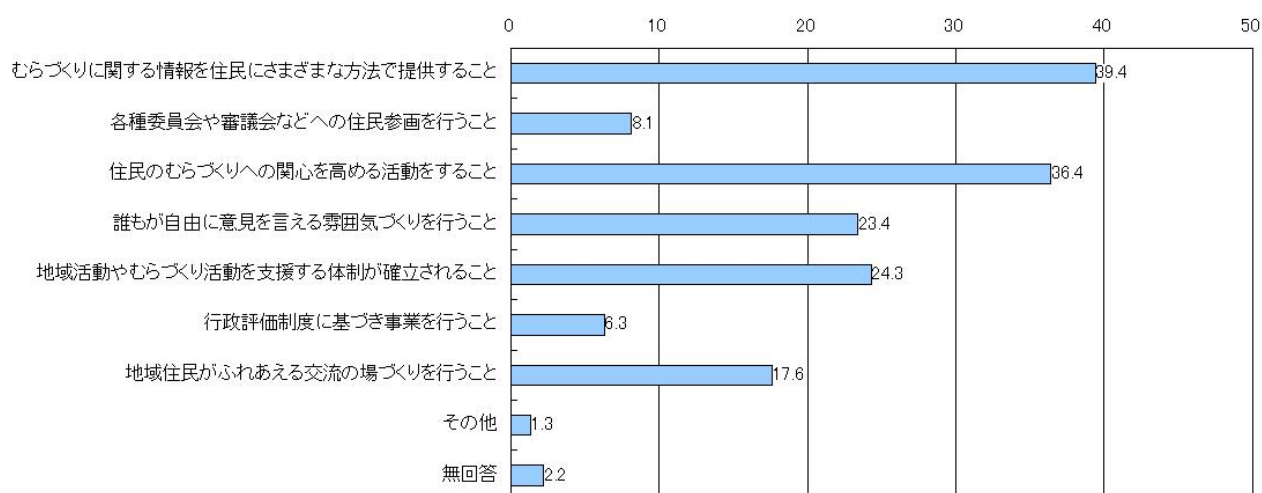
○20～40歳代で地域活動・学校行事、50～60歳代で日常生活の中で環境保全、70歳以上で身近な緑化と花づくり

年代により回答は多様に分かれています。20歳代では「スポーツや文化など、生涯学習活動に進んで参加すること」が最も高く、20歳代～40歳代では「地域活動や学校行事に参加、協力すること」、また、30歳代～60歳代で「日常生活の中で環境保全について努力すること」、さらに50歳代～70歳代以上では「身近な場所の緑化や花づくりに努めること」の割合が高くなっています。

問14 これから住民参加によるむらづくりの推進のために必要なことは何ですか？（該当するもの2つまで）

	回答数	割合(%)
むらづくりに関する情報を住民にさまざまな方法で提供すること	378	39.4
各種委員会や審議会などへの住民参画を行うこと	78	8.1
住民のむらづくりへの関心を高める活動をする	349	36.4
誰もが自由に意見を言える雰囲気づくりを行うこと	224	23.4
地域活動やむらづくり活動を支援する体制が確立されること	233	24.3
行政評価制度に基づき事業を行うこと	60	6.3
地域住民がふれあえる交流の場づくりを行うこと	169	17.6
その他	12	1.3
無回答	21	2.2
回答者総数(％ベース)	959	100

住民参加のむらづくりに必要なこと(総数959、2つまで複数回答、単位%)



○村づくりに関する住民への情報提供が必要

「むらづくりに関する情報を住民にさまざまな方法で提供すること」が39.4%(378人)と最も多く、次いで「住民のむらづくりへの関心を高める活動をする」36.4%(349人)、「地域活動やむらづくり活動を支援する体制が確立されること」24.3%(233人)、「誰もが自由に意見を言える雰囲気づくりを行うこと」23.4%(224人)などとなっています。逆に低いのが「行政評価制度に基づき事業を行うこと」6.3%(60人)、「各種委員会や審議会などへの住民参画を行うこと」8.1%(78人)などです。

男女別●住民参加の村づくりに必要なこと

上段:回答数 下段: %	合計	むらづくりに関する情報を住民にさまざまな方法で提供すること	各種委員会や審議会などへの住民参画を行うこと	住民のむらづくりへの関心を高める活動を行うこと	誰もが自由に意見を言える雰囲気づくりを行うこと	地域活動やむらづくり活動を支援する体制が確立されること	行政評価制度に基づき事業を行うこと	地域住民がふれあえる交流の場づくりを行うこと	その他	無回答
全体	959 100.0	378 39.4	78 8.1	349 36.4	224 23.4	233 24.3	60 6.3	169 17.6	12 1.3	21 2.2
男	460 100.0	183 39.8	43 9.3	158 34.3	109 23.7	121 26.3	35 7.6	65 14.1	7 1.5	7 1.5
女	495 100.0	193 39.0	34 6.9	190 38.4	114 23.0	112 22.6	25 5.1	104 21.0	5 1.0	13 2.6
無回答	4 100.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	- -	- -	- -	- -	1 25.0

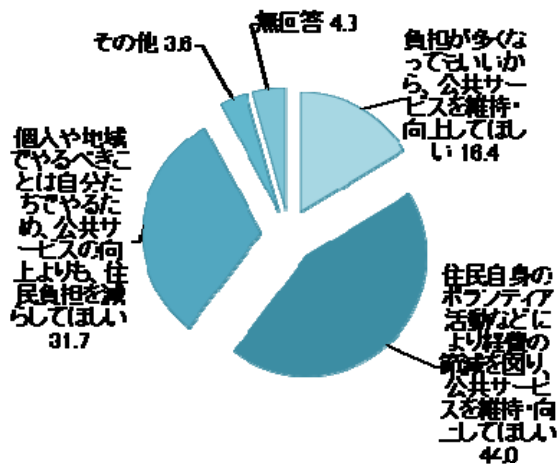
○委員会や審議会への参画、行政評価で女性の回答割合が特に低い

「むらづくりに関する情報を住民にさまざまな方法で提供すること」「住民のむらづくりへの関心を高める活動を行うこと」など上位の回答に男女で差異はありませんが、「各種委員会や審議会などへの住民参画を行うこと」「行政評価制度に基づき事業を行うこと」などでは、特に女性の回答割合が低くなっています。

問15 今後の公共サービスのあり方に関する考え方について（該当するもの1つ）

	回答数	割合(%)
負担が多くなっていいから、公共サービスを維持・向上してほしい	157	16.4
住民自身のボランティア活動などにより経費の節減を図り、公共サービスを維持・向上してほしい	422	44.0
個人や地域でやるべきことは自分たちでやるため、公共サービスの向上よりも、住民負担を減らしてほしい	304	31.7
その他	35	3.6
無回答	41	4.3
回答者総数(%ベース)	959	100

公共サービスの在り方(総数959, 単位%)



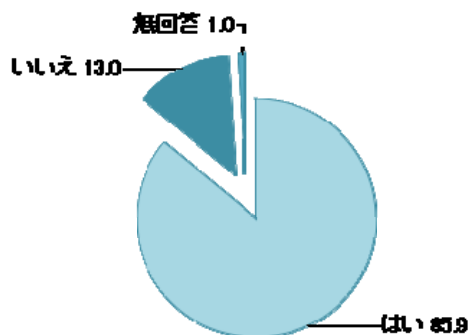
○経費節減で公共サービスの維持・向上を

「住民自身のボランティア活動などにより経費の節減を図り、公共サービスを維持・向上してほしい」が44.0%(422人)と最も多く、次いで、「個人や地域でやるべきことは自分たちでやるため、公共サービスの向上よりも、住民負担を減らしてほしい」31.7%(304人)、「負担が多くなっていいから、公共サービスを維持・向上してほしい」16.4%(157人)となっています。

問16 行政区に加入していますか？

	回答数	割合(%)
はい	824	85.9
いいえ	125	13.0
無回答	10	1.0
回答者総数(%ベース)	959	100

行政区への加入状況(総数959, 単位%)

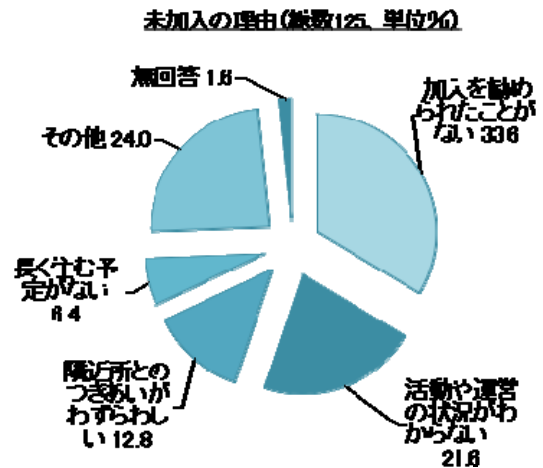


○約86%が行政区に加入

「はい」が85.9%(824人)、「いいえ」が13.0%(125人)となっています。

問17 前問で「いいえ」と回答した方に伺います。加入していない理由はなんですか？（該当するもの1つ）

	回答数	割合(%)
加入を勧められたことがない	42	33.6
活動や運営の状況がわからない	27	21.6
隣近所とのつきあいがわずらわしい	16	12.8
長く住む予定がない	8	6.4
その他	30	24.0
無回答	2	1.6
回答者総数(%ベース)	125	100



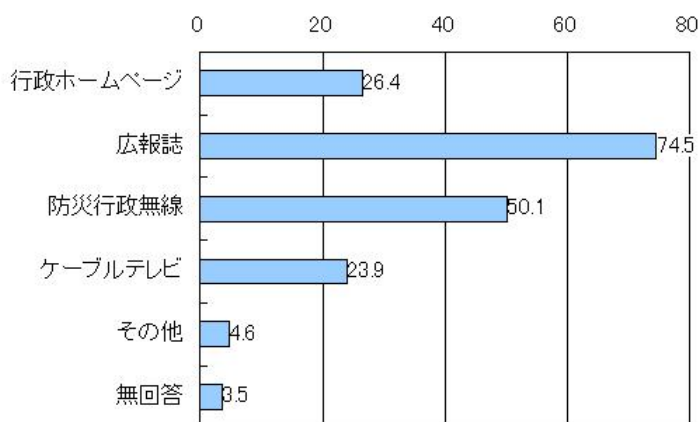
○3人に1人が加入を勧められたことがない

「加入を勧められたことがない」が33.6%(42人)と最も高くなっています。

問18 村からの行政情報は、普段どんな方法で入手していますか？（該当するもの全て）

	回答数	割合(%)
行政ホームページ	253	26.4
広報誌	714	74.5
防災行政無線	480	50.1
ケーブルテレビ	229	23.9
その他	44	4.6
無回答	34	3.5
回答者総数(%ベース)	959	100

行政情報の入手方法(総数959、複数回答、単位%)



○広報誌が約75%

「広報誌」が74.5%(714人)と最も多く、次いで「防災行政無線」50.1%(480人)、「行政ホームページ」26.4%(253人)などとなっています。

年代別●行政情報の入手方法

上段:回答数 下段: %	合計	行政 ホームページ	広報誌	防災 行政無線	ケーブル テレビ	その他	無回答
全体	959 100.0	253 26.4	714 74.5	480 50.1	229 23.9	44 4.6	34 3.5
10歳代	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	- -	- -	- -
20歳代	45 100.0	23 51.1	23 51.1	20 44.4	8 17.8	1 2.2	2 4.4
30歳代	77 100.0	37 48.1	51 66.2	31 40.3	20 26.0	1 1.3	3 3.9
40歳代	180 100.0	63 35.0	127 70.6	88 48.9	43 23.9	13 7.2	6 3.3
50歳代	175 100.0	46 26.3	143 81.7	83 47.4	37 21.1	6 3.4	4 2.3
60歳代	276 100.0	59 21.4	223 80.8	147 53.3	73 26.4	15 5.4	4 1.4
70歳以上	197 100.0	23 11.7	143 72.6	106 53.8	46 23.4	8 4.1	13 6.6
無回答	7 100.0	1 14.3	3 42.9	4 57.1	2 28.6	- -	2 28.6

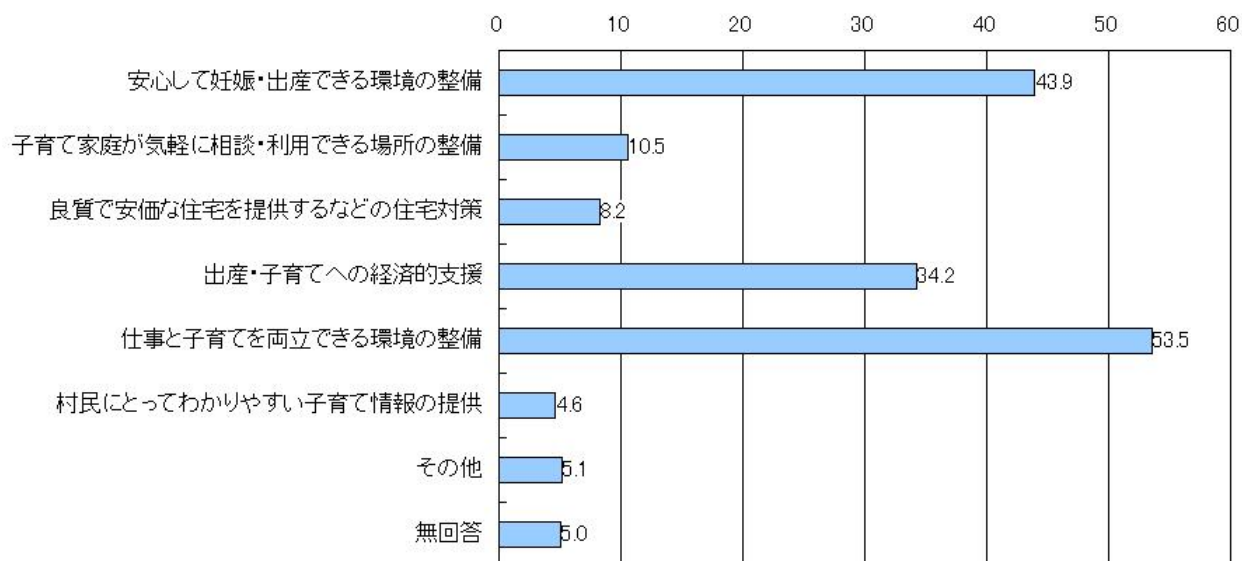
○10～30歳代では広報誌の割合が下がり、その分ホームページの割合が高くなる

いずれの年代も「広報誌」の割合が高くなっています。40歳代以上で特にその割合が高く、これに「防災行政無線」が次いでいます。10～30歳代では「広報誌」の割合がやや下がり、その分「行政ホームページ」が高くなっています。

問19 全国的に少子化が問題となっていますが、少子化対策として最も有効と思われるものは何ですか？（該当するもの2つまで）

	回答数	割合(%)
安心して妊娠・出産できる環境の整備	421	43.9
子育てが家庭が気軽に相談・利用できる場所の整備	101	10.5
良質で安価な住宅を提供するなどの住宅対策	79	8.2
出産・子育てへの経済的支援	328	34.2
仕事と子育てを両立できる環境の整備	513	53.5
村民にとってわかりやすい子育て情報の提供	44	4.6
その他	49	5.1
無回答	48	5.0
回答者総数(%ベース)	959	100

有効な少子化対策(総数959、2つまで複数回答、単位%)



○仕事と子育ての両立が過半数

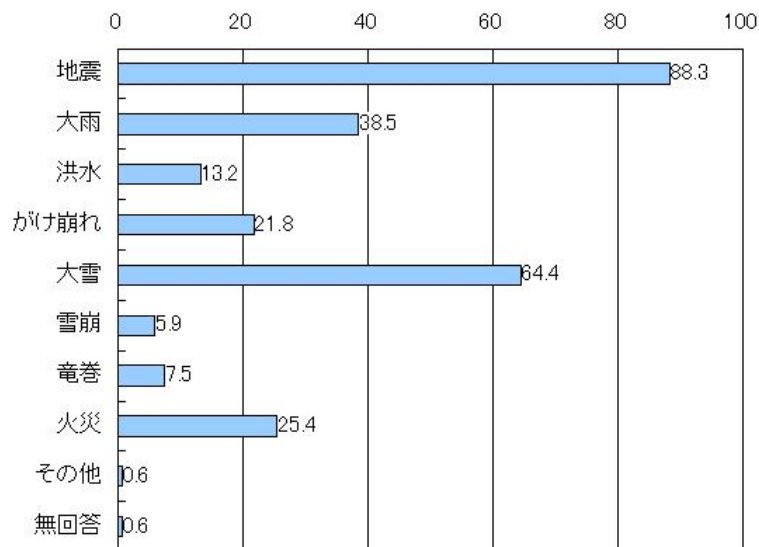
「仕事と子育てを両立できる環境の整備」が53.5%(513人)と最も多く、次いで、「安心して妊娠・出産できる環境の整備」43.9%(421人)、「出産・子育てへの経済的支援」34.2%(328人)などとなっています。

V 防災対策について

問20 どのような災害が心配だと思いますか？（該当するもの3つまで）

	回答数	割合(%)
地震	847	88.3
大雨	369	38.5
洪水	127	13.2
がけ崩れ	209	21.8
大雪	618	64.4
雪崩	57	5.9
竜巻	72	7.5
火災	244	25.4
その他	6	0.6
無回答	6	0.6
回答者総数(%ベース)	959	100

心配される災害(総数959、3つまで複数回答、単位%)



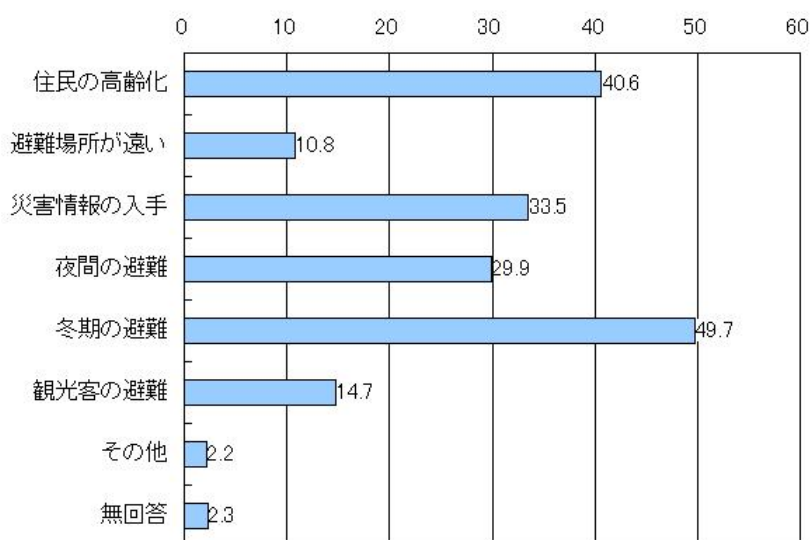
〇9割近く、地震が心配

「地震」が88.3%(847人)と圧倒的に多く、次いで「大雪」64.4%(618人)、「大雨」38.5%(369人)などとなっています。

問21 災害時に心配なことは何ですか？（該当するもの2つまで）

	回答数	割合(%)
住民の高齢化	389	40.6
避難場所が遠い	104	10.8
災害情報の入手	321	33.5
夜間の避難	287	29.9
冬期の避難	477	49.7
観光客の避難	141	14.7
その他	21	2.2
無回答	22	2.3
回答者総数(%ベース)	959	100

災害時に心配なこと(総数959、2つまで複数回答、単位%)



○半数が冬期の避難を心配

「冬期の避難」が49.7%(477人)と最も多く、次いで、「住民の高齢化」40.6%(389人)、「災害情報の入手」33.5%(321人)などとなっています。

年代別●災害時に心配されること

上段:回答数 下段: %	合計	住民の 高齢化	避難場所 が遠い	災害情報 の入手	夜間の 避難	冬期の 避難	観光客の 避難	その他	無回答
全体	959 100.0	389 40.6	104 10.8	321 33.5	287 29.9	477 49.7	141 14.7	21 2.2	22 2.3
10歳代	2 100.0	1 50.0	- -	1 50.0	1 50.0	- -	- -	- -	- -
20歳代	45 100.0	15 33.3	4 8.9	21 46.7	12 26.7	19 42.2	9 20.0	- -	- -
30歳代	77 100.0	24 31.2	7 9.1	28 36.4	26 33.8	41 53.2	6 7.8	4 5.2	2 2.6
40歳代	180 100.0	51 28.3	16 8.9	67 37.2	44 24.4	108 60.0	35 19.4	5 2.8	5 2.8
50歳代	175 100.0	60 34.3	16 9.1	69 39.4	57 32.6	91 52.0	34 19.4	4 2.3	5 2.9
60歳代	276 100.0	127 46.0	31 11.2	90 32.6	92 33.3	132 47.8	31 11.2	6 2.2	5 1.8
70歳以上	197 100.0	109 55.3	30 15.2	45 22.8	53 26.9	84 42.6	23 11.7	2 1.0	3 1.5
無回答	7 100.0	2 28.6	- -	- -	2 28.6	2 28.6	3 42.9	- -	2 28.6

○60歳代以上で約半数が住民の高齢化を心配

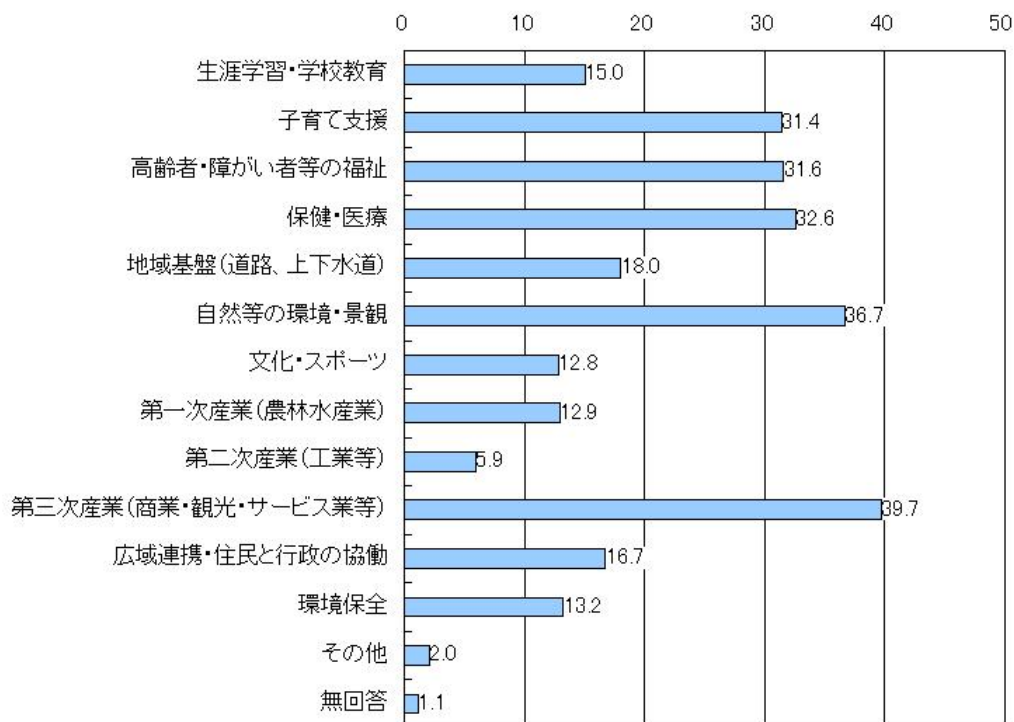
「冬期の避難」と「災害情報の入手」を心配する割合がいずれの年代でも高くなっていますが、60歳代以上では「住民の高齢化」を心配する回答が多く、また、20歳代以下では「災害情報の入手」を心配する回答が多くなっています。

VI 戦略的なまちづくりについて

問22 これからの時代、地域自らが、地域の将来を考え、実行していくことの重要性が高まっています。まちづくりにはさまざまな分野がありますが、あなたは、白馬村が今後、より一層活性化したり、いきいきとしていくためには、どんな分野に力を入れていくことが必要だと思いますか？（該当するもの3つまで）

	回答数	割合(%)
生涯学習・学校教育	144	15.0
子育て支援	301	31.4
高齢者・障がい者等の福祉	303	31.6
保健・医療	313	32.6
地域基盤(道路、上下水道)	173	18.0
自然等の環境・景観	352	36.7
文化・スポーツ	123	12.8
第一次産業(農林水産業)	124	12.9
第二次産業(工業等)	57	5.9
第三次産業(商業・観光・サービス業等)	381	39.7
広域連携・住民と行政の協働	160	16.7
環境保全	127	13.2
その他	19	2.0
無回答	11	1.1
回答者総数(%ベース)	959	100

今後、村が力を入れてゆべき分野(総数959、3つまで複数回答、単位%)



年代別●これから力を入れてゆくべき分野

上段:回答数 下段: %	合計	生涯学習・ 学校教育	子育て支 援	高齢者・障 がい者等 の福祉	保健・医療	地域基盤 (道路、上 下水道)	自然等の 環境・景観	文化・スポ ーツ
全体	959 100.0	144 15.0	301 31.4	303 31.6	313 32.6	173 18.0	352 36.7	123 12.8
10歳代	2 100.0	1 50.0	1 50.0	- -	- -	- -	- -	1 50.0
20歳代	45 100.0	5 11.1	17 37.8	6 13.3	13 28.9	14 31.1	18 40.0	8 17.8
30歳代	77 100.0	11 14.3	41 53.2	13 16.9	25 32.5	17 22.1	21 27.3	15 19.5
40歳代	180 100.0	43 23.9	72 40.0	37 20.6	56 31.1	27 15.0	74 41.1	35 19.4
50歳代	175 100.0	22 12.6	45 25.7	42 24.0	64 36.6	35 20.0	64 36.6	32 18.3
60歳代	276 100.0	31 11.2	77 27.9	126 45.7	95 34.4	45 16.3	107 38.8	23 8.3
70歳以上	197 100.0	31 15.7	47 23.9	77 39.1	59 29.9	34 17.3	67 34.0	9 4.6
無回答	7 100.0	- -	1 14.3	2 28.6	1 14.3	1 14.3	1 14.3	- -

上段:回答数 下段: %	第一次産 業(農林水 産業)	第二次産 業(工業 等)	第三次産 業(商業・ 観光・サー ビス業等)	広域連携・ 住民と行政 の協働	環境保全	その他	無回答
全体	124 12.9	57 5.9	381 39.7	160 16.7	127 13.2	19 2.0	11 1.1
10歳代	- -	- -	1 50.0	- -	- -	- -	- -
20歳代	5 11.1	1 2.2	21 46.7	8 17.8	4 8.9	1 2.2	- -
30歳代	11 14.3	2 2.6	38 49.4	6 7.8	10 13.0	2 2.6	- -
40歳代	18 10.0	11 6.1	86 47.8	17 9.4	21 11.7	7 3.9	- -
50歳代	27 15.4	9 5.1	79 45.1	26 14.9	29 16.6	3 1.7	3 1.7
60歳代	35 12.7	19 6.9	90 32.6	58 21.0	39 14.1	3 1.1	1 0.4
70歳以上	27 13.7	15 7.6	65 33.0	45 22.8	24 12.2	3 1.5	3 1.5
無回答	1 14.3	- -	1 14.3	- -	- -	- -	4 57.1

○第三次産業(商業・観光・サービス業等)の振興を(前ページ)

「第三次産業」が39.7%(381人)と最も多く、次いで、「自然等の環境・景観」36.7%(352人)、以下、僅差で「保健・医療」「高齢者・障がい者等の福祉」「子育て支援」が続いています。

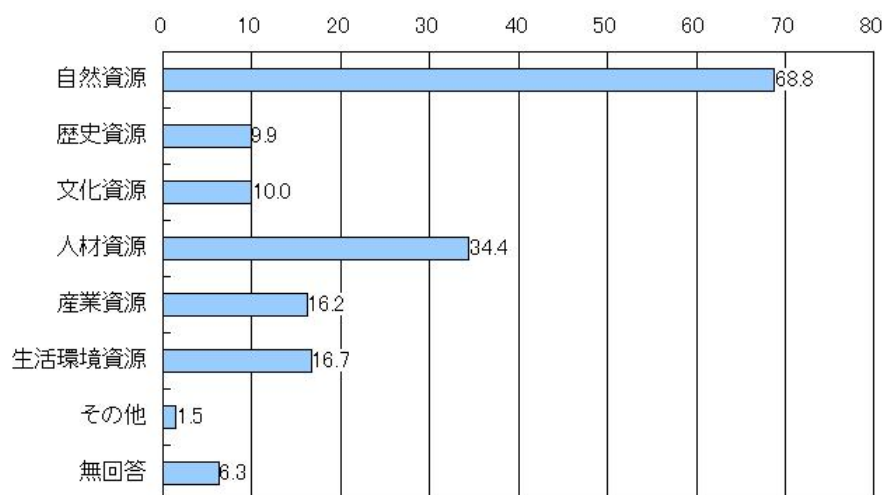
○30歳代では「子育て支援」、60歳代～70歳以上では「高齢者・障がい者等の福祉」(前ページ)

年代別に見ると、「第三次産業」は20歳代～50歳代で高くなっています。これに対し、30歳代では「子育て支援」、60歳代～70歳以上では「高齢者・障がい者等の福祉」がそれぞれ高く、また、「自然等の環境・景観」はほぼ全年代を通じて高くなっています。

問23 白馬村ならではの地域づくりを進めていくため、有効活用すべき地域資源、埋もれている要素などがありますか？(該当するもの2つまで)

	回答数	割合(%)
自然資源	660	68.8
歴史資源	95	9.9
文化資源	96	10.0
人材資源	330	34.4
産業資源	155	16.2
生活環境資源	160	16.7
その他	14	1.5
無回答	60	6.3
回答者総数(%ベース)	959	100

有効活用すべき地域資源(総数959、2つまで複数回答、単位%)



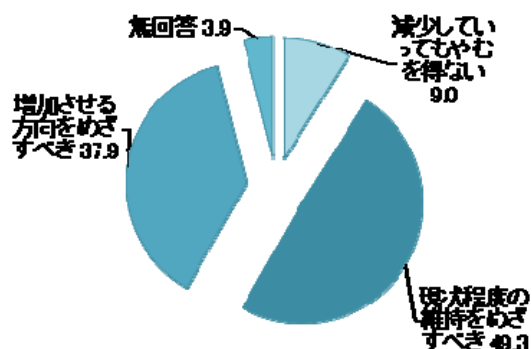
○圧倒的に自然資源

「自然資源」が68.8%(660人)と圧倒的に高く、次いで「人材資源」34.4%(330人)などとなっています。

問24 あなたは、白馬村の人口規模が将来、どのようになるのが望ましいと思いますか？（該当するもの1つ）

	回答数	割合(%)
減少していてもやむを得ない	86	9.0
現状程度の維持をめざすべき	473	49.3
増加させる方向をめざすべき	363	37.9
無回答	37	3.9
回答者総数(%ベース)	959	100

望ましい人口規模(総数959 単位%)



○約半数が現状維持

「現状程度の維持をめざすべき」が49.3%(473人)と約半数、次いで、「増加させる方向をめざすべき」37.9%(363人)となっています。

年代別●望ましい将来人口

上段:回答数 下段: %	合計	減少していてもやむを得ない	現状程度の維持をめざすべき	増加させる方向をめざすべき	無回答
全体	959 100.0	86 9.0	473 49.3	363 37.9	37 3.9
10歳代	2 100.0	2 100.0	- -	- -	- -
20歳代	45 100.0	6 13.3	23 51.1	15 33.3	1 2.2
30歳代	77 100.0	14 18.2	37 48.1	24 31.2	2 2.6
40歳代	180 100.0	11 6.1	106 58.9	57 31.7	6 3.3
50歳代	175 100.0	17 9.7	92 52.6	60 34.3	6 3.4
60歳代	276 100.0	18 6.5	136 49.3	115 41.7	7 2.5
70歳以上	197 100.0	17 8.6	78 39.6	90 45.7	12 6.1
無回答	7 100.0	1 14.3	1 14.3	2 28.6	3 42.9

○70歳以上は増加、10歳代は減少やむなし

20歳代～60歳代まで「現状程度の維持をめざすべき」がほぼ半数を占めているが、70歳以上では「増加させる方向をめざすべき」、逆に10歳代では「減少していてもやむを得ない」が多数を占めています。